

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 菅政権は民意を守れ！海の生き物を殺すな！

### 土砂投入2年へり基地反対協が海上行動

辺野古の海に土砂が投入されて2年目の14日、へり基地反対協は新基地建設のK8護岸付近の作業現場で抗議船6隻、カヌー27艇に市民約50人が乗り、海上から抗議行動を展開しました。

#### 抗議船とカヌーから工事中止を訴える

海上行動では反対協・仲本興真事務局長が司会し、最初、金井創牧師が闘いの中で亡くなった仲間を祈りを捧げ全員で黙とうを捧げました。その後、参加者の歌や訴えがあり、「抗議のアピール」を読み上げ採択しました。アピールでは「2年の間にどれだけ多くの生き物が生き埋めにされたらどうか」「管内閣は希望の海を破壊し、戦争する国造りを進めている。しかし、破壊は明らかだ」それは沖縄の民意は「辺野古に基地はノー」だからだ。米シンクタンクも「辺野古完成の可能性が低い」という報告書も出している。コロナ禍の中で不要不急の基地建設はやめるべきだ。「私たちは設計変更を認めず、玉城デニー知事を支持する」、「沖縄を憲法番外地にするな」と訴えました。オール沖縄会議の福元勇司事務局長が「気概を持ってがんばろう」と連帯の挨拶をしました。



様々なスローガンを掲げて現場で抗議するカヌーチーム(写真上) 訴える仲本氏(右)と福元氏(写真左)



#### 大浦湾に巨大船が入る

11日午前8時過ぎ、大浦湾に突如巨大船が現れました。地元紙によると洋上で埋め立て用の土砂を蓄積するための大型船「デッキバージ」とのこと。大型船の設置で辺野古側の埋め立てを加速させることが狙いです。大型船は長さ141m、幅36mで土砂9千立方mまで積むことができます。この大型船運用は当初計画にはなく大浦湾への環境負荷が増すことが懸念されています。(写真提供・仲本興真氏)



#### 平和市民連絡会が緊急学習会

沖縄平和市民連絡会は12日、那覇市内で緊急講演学習会を開催。講師は「日本学術会議問題について」を桜井国俊沖縄大名譽教授、「軍港問題について」を真喜志好一氏、「辺野古をめぐる問題について」を北上田毅氏でした。いずれも直面する重大問題とあって約120人が熱心に聴講しました。

#### お願い 不使用のカメラご提供を

名護共同センターの運営は支援者や読者の皆さんからのカンパで支えられています。当ニュースは「写真が豊富で読みやすい」と好評をいただいています。ところが、ニュース担当が現在まで使ってきたカメラが最近、故障して不自由しています。読者の方で使っていないカメラがありましたら、共同センターにご提供いただけませんか。お心当たりのある方からのご一報をお待ちしています。

担当・早坂【連絡先は最上欄】

#### 「三行の意見書」「ボーリング調査黙認」許さない 「辺野古容認」の名護市長へ抗議行動

「オール沖縄会議」現地闘争部は15日、名護市役所前で緊急抗議集会を開催、80人を超える県民が参加しました。これは開催中の名護市議会に沖縄県から諮問されている「設計変更」申請に対する名護市長の意見書が16日に追加議案として提案され、その日に可決されようとしている問題と沖縄防衛局が美謝川の切り替えのために辺野古ダム湖面とその周辺でのボーリング調査を行っていることを名護市長が黙認していることへの抗議行動です。



意見書では「作業用ヤードの辺野古地先の埋め立て造成を取りやめにする」と異議はない」とわずか「三行の意見」になっているとのこと。変更申請の原因で環境や市民生活に重大な影響を与える「軟弱地盤問題」などを回避し事実上新基地を容認する内容となっています。緊急行動では北上田毅さんが問題を解明、名護市議会の7人の野党議員が参加しました。

#### 「辺野古新基地工事は中止せよ」

#### あいち沖縄会議が集会とデモ

12月5日、名古屋市の大通り公園で「辺野古新基地反対集会&デモ」が開催されました。主催は、あいち沖縄会議で市民や沖縄県出身者が100人近く参加しました。同会議代表の牛島達夫氏(名工大講師)は「基地建設の設計変更に対する意見書が着工時の約6倍の1万8904件も寄せられた。破綻している工事は中止すべき」と訴えました。キャンパスや安和、塩川で毎月阻止行動へ参加している山下律子さんが現場の実態を報告。あきらめない沖縄県民との連帯は一層重要と強調。「軟弱地盤の改良に莫大な税がかかる、その税金をコロナ対策へ」と訴えました。デモはコロナ感染防止のためコーンで中止し、三線の音を流しながらプラカードや旗を掲げ繁華街を行進しました。師走に入り多くの通行人が手を振り賛同していました。



【通信・命どう宝愛知・新城正男】